

トマト (ナス科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	(苗購入) ○ ———— ○ ———— 定植 第1花房着蕾期 <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 収 穫：7月上旬～10月上旬 </div>																				
※自家育苗の場合：は種時期を3月上旬～中旬とし、育苗期間は60日～65日																					

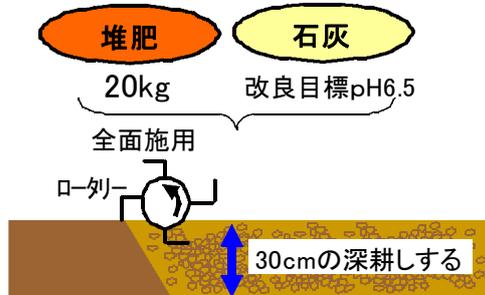
表1 主な品種

	品種名	早晩生	樹勢の強弱	着果の多少	果肉	果形
大玉	ハウス桃太郎	早生	中	中	濃桃	腰高
	桃太郎ファイト	中早生	中	中	濃桃	腰高
	麗夏	早生	強	中	濃桃	豊円
中玉	シンディースイート	早生	強	多	(1果重40g)	
	レッドオーレ	早生	強	多	(1果重40～50g)	
ミニ	キャロル10	極早生	中	中～多	赤(1果重10～15g)	
	ココ	早生	強	中	濃赤(1果重20～25g)	
	イエローミミ	極早生	強	多	レモンイエロー(1果重15g)	

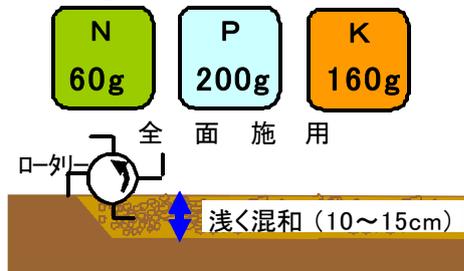
1 栽培管理

①畑の準備

- ・トマトは収穫期間が長いので土づくりはしっかり行います。
- ・肥料を混和した後、マルチをはって地温を上げておきます。

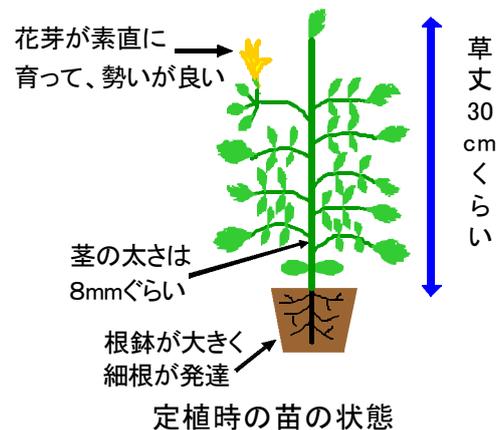


畑の準備(10㎡当たり)



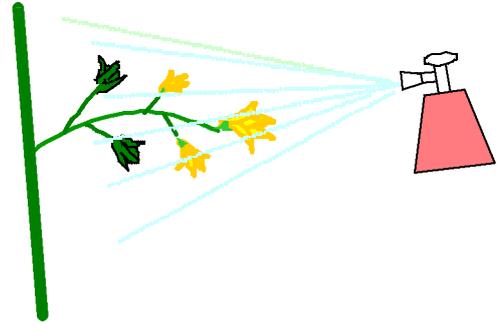
②定植

- ・風の無い暖かい日に定植します。
- ・植え付け時の苗の大きさは、第一花房の第一花が咲き始めのころです(右図)。第一花房を通路側に向けて植えると、以後の花房も同じ向きで着生するので管理が楽です。
- ・畦は10cm程度の高畦とし、畦幅100cm×株間40～50cmを目安に定植します。
- ・定植直後のかん水は地温が下がるため避けます。苗床で十分にかん水しましょう。
- ・定植時は深植えしないように注意しましょう。



③管理

- ・当地域は、5月～6月中旬まで降霜の心配があり、夜間の保温は重要な技術です。「ハウス+マルチ」であっても油断はできないので、夜間の保温に努めましょう。支柱を立てるまでは、一重トンネル又は二重トンネルで夜間保温し、初期生育の促進を図ります。
- ・わき芽は、手でかき取れる程度の大きさの時に早めに摘除します。
- ・ホルモン剤の高濃度処理や処理後の高温（25℃以上）は、空洞果の発生を招くので注意が必要です。ミニトマトのホルモン処理は、着果数が多く開花期間が長期にわたるので、ホルモン剤の濃度を薄め（約120倍位）にして、5日程度の間隔をおいて行います。
- ・トマトは第3花房開花期から急激に草勢が衰え、着果不良を起こす場合があるので、遅れないように窒素・カリを10㎡当たり20g程度を2～3回追肥します。ミニトマトは草勢が強いので着果数が急激に増える第4～5果房の肥大盛期頃から追肥します。
- ・主な病害虫は、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ等があるので、早期に発見し、初期防除の徹底を図ります。



【ホルモン処理】

トマトーン100倍液などを2～3花が開いたとき霧吹きで軽く1～2吹きする。食紅をホルモン剤に入れると処理済みの目安となり、重複噴霧を避けられます。



【葉かび病】

早めに除去



【扇風機の設置事例】

風の流れを作るだけでも、病気は減ります